

議会だより

2018

よしか

第46号



双葉保育所の園児たち

| | | | |
|------------------|-------|--------------|---------|
| ・年頭あいさつ・議会構成 | …2頁 | ・臨時会・全員協議会 | …7～8頁 |
| ・同意案件・各委員会 | …3頁 | ・議案の議決結果表 | …9頁 |
| ・第4回定例会・一般会計補正予算 | …4頁 | ・一般質問・主な議会動向 | …10～13頁 |
| ・主な質疑 | …5～6頁 | ・発議・請願・編集後記 | …14頁 |

年頭の
あいさつ

議長

安永友行



新年あけましておめでとう
ございます。

昨年は災害もなく、穏やかな年でありました。本年は昨秋の町長、町議会議員の改選により、岩本新町長、議員12名が選出され、合併後4期目のスタートの年となります。町長は財政健全化と少子化対策を継続するとともに『まちを一つに』と『住民目線のまちづくり』を打ち出されました。一方、町財政は地方交付税の合併特例等の優遇措置もなくなり厳しさが増すこと

は必定了。

そのような状況の中、全国の町村議会では立候補者が少ないこと、若い方や女性の参画が少ないため、二元代表制下の地方自治の危機とまで言われています。

しかし、私達は議会の役割、使命を自覚し、住民の立場に立ち、町の政策を決定して行かなければなりません。

皆様が吉賀町に住んで良かったと思つて頂けるよう議員一同、行政執行部との議論や皆様のご意見を頂きながら、奉仕者としての議会の努めを果たして参ります。

年頭に当たり、ご理解とご協力を願います。良き年となることを願い、ごあいさつを申し上げます。

平成30年新春

吉賀町議会構成

平成29年11月7日構成

| | | | |
|------------|-------|-------|----------------------|
| 議長 | 安永友行 | | |
| 副議長 | 松蔭 茂 | | |
| 委員会名 | 委員長 | 副委員長 | 委員 |
| 議会運営(5人) | 大多和安一 | 河村由美子 | 松蔭 茂 桜下善博 中田 元 |
| 総務常任(6人) | 桜下 善博 | 藤升 正夫 | 松蔭 茂 三浦浩明 桑原三平 河村由美子 |
| 経済常任(5人) | 中田 元 | 大多和安一 | 河村隆行 大庭澄人 庭田英明 |
| 広報広聴常任(5人) | 桑原 三平 | 大庭 澄人 | 松蔭 茂 三浦浩明 庭田英明 |
| 議会選出監査委員 | (1人) | | 藤升正夫 |

一部事務組合

| | |
|------------------------|---------------------|
| 益田地区広域市町村圏事務組合議会議員(4人) | 松蔭 茂 桑原三平 庭田英明 安永友行 |
| 鹿足郡事務組合議会議員(3人) | 中田 元 河村由美子 藤升正夫 |
| 鹿足郡養護老人ホーム組合議会議員(3人) | 桜下善博 大多和安一 大庭澄人 |
| 鹿足郡不燃物処理組合議会議員(4人) | 三浦浩明 中田 元 河村隆行 藤升正夫 |

同意案件

◇副町長の選任が全員賛成で同意されました。



副町長

赤松 寿志氏

(平成30年1月1日付)

◇固定資産評価審査委員会委員の選任が全員賛成で同意されました。

中村哲也氏(再任) 注連川 田原和之氏(新任) 六日市
齋藤幹子氏(再任) 柿木村福川

選挙管理委員及び同補充員の選挙

◇議会の選挙により次の方が選ばれました。

【選挙管理委員】

田村 惇氏(再任) 柿木村下須
村上 禎氏(再任) 朝倉
岡崎 等氏(再任) 六日市
田村朝子氏(再任) 柿木村福川

【選挙管理委員補充員】

羽野敬子氏(再任) 柿木村福川
長藤武雄氏(新任) 七日市
齋藤幹子氏(再任) 柿木村福川
榎田好美氏(再任) 九郎原



議会運営委員会

中田 元 桜下善博
松蔭 茂 大多和安一 河村由美子



総務常任委員会

松蔭 茂 桑原三平 三浦浩明
河村由美子 桜下善博 藤升正夫



経済常任委員会

河村隆行 大庭澄人
庭田英明 中田 元 大多和安一



広報広聴常任委員会

庭田英明 三浦浩明
松蔭 茂 桑原三平 大庭澄人

平成29年 第4回定例会

住民の力で町有地整備へ

～「手づくり自治区柿木村」へ10年間無償貸与～

荒廃地となっている町有地を貸し付けることにより、手づくり自治区柿木村が事業を計画している「100年森づくり」のモデル林として整備し、手入れがされた調和の取れた森づくりを目指すものです。

(議案第67号)

平成29年第4回定例会が12月8日から12月21日までの14日間開催され、議案16件、発議2件、請願1件を審議し、初日の新町長の所信表明を受け11名が一般質問に立ち、町政の課題について議論を展開しました。

主な議案

- ◆ 益田地区広域市町村圏事務組合規約の変更について
- ◆ 請負契約の変更について（吉賀町役場本庁舎改修工事）
- ◆ 町有財産無償貸付の件について
- ◆ 用字、用語等の整備に関する条例の制定について
- ◆ 吉賀町農業競争力強化基盤整備事業分担金徴収条例の制定について
- ◆ 吉賀町農業委員会の委員等の定数等に関する条例の制定について
- ◆ 吉賀町長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例について
- ◆ 吉賀町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
- ◆ 平成29年度吉賀町一般会計補正予算（第5号）ほか7議案

平成29年度吉賀町一般会計補正予算(第5号)

| | |
|--------------|-------------|
| 補正額 | 19,741千円 |
| 補正後の29年度予算総額 | 7,196,742千円 |

主な歳入

(単位：千円)

| | |
|-------|--------|
| 国庫補助金 | 1,150 |
| 県補助金 | 6,005 |
| 雑入 | 11,781 |

主な歳出

(単位：千円)

| | |
|-------------|-------|
| 空家再生事業費 | 5,900 |
| 老人福祉センター管理費 | 6,731 |
| 特養とびのこ苑管理費 | 5,426 |
| 農業基盤整備促進事業費 | 5,300 |

主 な 質 疑

請負契約の変更について

庭田 議員

◆ 庁舎改修の追加工事が出たが、これでこの工事の追加 補正はないのか。

【総務課長】

大規模改修は今回で一応通りのめどが立つと考えている。小さい修繕は当然毎年のように出る可能性がある。

町有財産無償貸付の件

三浦 議員

◆ 隣接する地権者との説明は出てきているのか、また、「手づくり自治区」との契約書の内容はこの様なものか。

【総務課長】

町の了解が得られたら、個別に地権者に説明に歩くと聞いている。契約書は、賃貸契約を結んで、賃貸料は無償とする。

大和 議員

◆ 貸付相手が「手づくり自治区 柿木村」だが、町の自治区制度は5年を限りで廃止となっている。この手づくり自治区は残っていないと考えていいか。

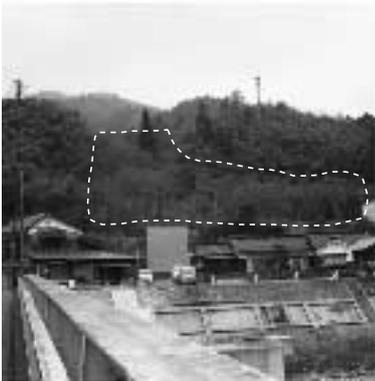
【総務課長】

町の自治区柿木村は平成33年3月になくなるが、手づくり自治区がそれに伴って無くなるという事ではない。

賛成 討論

松蔭 議員

◆ 大変夢のある計画である。町の遊休資産の有効活用にもつながり、将来的には資産価値があがる可能性もある。地区の活性化になり、賛成である。



(点線内が予定地)

[モデル林完成予想図]



(あくまでもイメージです。)

吉賀町農業競争力強化基盤整備事業分担金徴収条例の制定について

藤升議員

◆ 国が採択するための、要件、条件は。

【建設水道課長】

基本的な面積要件が付されており、10 ha以上となっている。

吉賀町農業委員会の委員等の定数に関する条例の制定について

反対討論

藤升議員

◆ 国は大規模農家への農地集積に力を注いでいるが、吉賀町のような中山間地域において、農地を本当に守っているのは、小さな農家である。そういう人たちを支える農業政策でなければならぬが、その点について十分示されていないので反対とする。



吉賀町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

反対討論

大庭議員

◆ 年金は物価スライド制を導入して、物価は上がっていないから

年金額を下げ、一方、公務員の給与は人事院勧告に準じ、景気が上向いているから、給与を上げるといっているから、給与を上げるという使いわけである。年金は下げ公務員の給与は上げるというのは、住民感情としても、また地方公務員法の均衡の原則にもふれ、反対する。

平成29年度吉賀町一般会計補正予算(第5号)

松蔭議員

◆ 空き家再生事業で、空き家活用集落担い手確保事業補助金の内容はどのようなものか。

【企画課長】

空き家に対して新たに住む人に改修費の一部を助成する制度である。また空き家財産等処分推進事業補助金は家の家具の処

分の費用を一部助成するもので、町の空き家情報バンクに登録されているものが対象である。

河村(由)議員

◆ 空き家再生事業で、管理もしない、帰ってもこないため、傷みが激しくなっているような空き家に解体費を出す町村が全国的に多くなっている。町はどう考えているか。

【総務課長】

町内に危険な空き家ができてきていることは承知している。国も行政が代執行出来る法律も出てきている。町でもそれに対する計画をつくり、協議会をつくれば行政代執行も出来るようになる。

中田議員

◆ 高齢者運転支援事業では、六日市錦線でこの事業は使えないが、岩国市との協議は進んでいるか。

【総務課長】

岩国市との協議でなかなか理解が得られないが、改めて要望を強めていき、来年度からということになれば、来年から一年

間ということとは当然確保しなければならぬ。

庭田議員

◆ 老人福祉センターの管理費、改良工事費があるが、瑕疵担保責任が明記されているか。

【企画課長】

指定管理者の契約書には町と管理者のリスク分担の表があり、特段、瑕疵担保ということは無い。修繕費が発生した場合どうするかを決めている。



(老人福祉センター はとの湯荘)

第3回臨時会

10月17日に執行された町長・町議会議員選挙後の初議会が11月7日招集された。

議長・副議長の選挙の他に各委員会の選任が行われ、新しい議会構成が決まり、4年間の活動がスタートした。

第4回臨時会

【平成29年11月17日】

議案2件が上程され全員の賛成で可決された。

【議案】一般会計補正予算

(第4号)

主な内容 本庁舎改修工事

請負金額1億6200万円に補正額1543万4000円を追加する。
理由 工事の途中で雨漏りなどにより改修に必要な場所が12箇所みであったため。



平成29年

第7回全員協議会

【12月1日】

《町道重則・親迫線にかかる土地所有権確認等請求事件の経過について》

桜下議員

◆ 関心の高い事案なので判決が出た以上せめて地元の自治会には経過を説明すべきと考える。

【岩本町長】

原告と被告が町と住民の方という関係なので、あくまで慎重に対応する。

《七日市小学校建設工事における労災事故の損害賠償請求訴訟について》

(内容)

七日市小学校の建設現場で24年8月に負傷した益田市在住の原告が(株)森本建設と吉賀町を被告として、1252万9285円の賠償を求める訴訟。

《新たな農業委員会制度について》

三浦議員

◆ 遊休農地は何%位あるか。

【産業課 新藤統括主幹】

農地台帳1055haのうちの5・1%、54・3haである。

【岩本町長】

5・1%という数字が本当かという気持ちは素直に持っている。全産業で担い手、後継者対策に具体的に取組まなければならないと考えている。

《指定管理施設「特別養護老人ホームとびのこ苑」厨房機器導入について》

(内容)

給食業務を直営とするため、必要な厨房機器を購入するというもの。

《町有財産無償貸付の件について》

(内容)

町有地を「手づくり自治区柿木村」に10年間無償貸付するというもの。

《第2次益田圏域定住自立圏共生ビジョンについて》

(内容)

平成29年から平成33年までの計画の策定。

《吉賀町老人福祉センター営業自粛の経緯について》

(内容)

レジオネラ菌と大腸菌が検出されたことにより営業を自粛したというもの。

藤升議員

◆ 原因に清掃、塩素濃度管理の不徹底とある。なぜそうなったのか検討されたか。

【深川企画課長】

清掃の徹底と井戸水を上水道に変更した。

《吉賀町サクラマス交流センター食事への異物混入について》

(内容)

夕食に提供したトンカツに12mmの針金状のものが混入していたというもの。

松蔭議員

◆ 再発防止に努めますだけで終わらせる問題ではない。誰が責任を取るのか。

【赤松総務課長】

原因が特定していないので、お互いが緊張感をもって取り組む以外にないと考えている。

【岩本町長】

全ての職場で危機管理体制を徹底するように指示を出した。

《生徒の個人情報流出事案について》

(内容)

2人の教職員が1台のプリンターを同時に使用したために生徒の個人情報が他の生徒に流出したものの。

大多和議員

◆ パソコンの管理は適切にされているか。

【光長教育次長】

個人情報が入ったパソコンを校外に持ち出すようなことはない。

平成29年

第8回全員協議会

【12月15日】

《第4次六日市病院支援計画の策定状況について》

中田議員

◆ 看護・介護職員の確保のためにも六日市学園の生徒を増やす対策も計画に入れてはいかかがか。

【永田保健福祉課長】

具体的な取り組みを盛り込んでいきたいと考えている。

大庭議員

◆ 小さな地域では経営は厳しい。しかし、際限のない支援も問題がある。先を見据えた地域医療のあり方を検討すべきだと考えるが。

【永田保健福祉課長】

今のままでと厳しい状況は続く。病院と一緒に考えていきたいと思う。

《吉賀町社会福祉協議会の経営安定に関する要望》

(内容)

事業活動資金収支差額が、平成27年・2200万円、28年・21

00万円の赤字計上となった。安定化のための財政支援と「みろく苑」の設備・備品の更新に3年間で、7174万円の支援を要望するといふもの。



(社会福祉協議会との意見交換)

議案の議決結果表

『議決結果表』

(議長は可否同数の場合を除き採決に加わらない)

【全議員賛成で可決した議案】(除斥議員を除く)

| | 議案番号 | 件名 (議案の内容) |
|----------------------------|--------|-----------------------------------|
| 臨時3 会回 | 同意第4号 | 固定資産評価審査委員の選任 |
| | 同意第5号 | 固定資産評価審査委員の選任 |
| | 同意第6号 | 固定資産評価審査委員の選任 |
| 臨時4 会回 | 議案第63号 | 平成29年度吉賀町下水道事業特別会計補正予算(第2号) |
| | 議案第64号 | 平成29年度吉賀町一般会計補正予算(第4号) |
| 第 4 回 定 例 会 | 議案第65号 | 益田地区広域市町村圏事務組合規約の変更 |
| | 議案第66号 | 請負契約の変更(吉賀町役場本庁舎改修工事) |
| | 議案第67号 | 町有財産無償貸付の件 |
| | 議案第68号 | 用字、用語等の整備に関する条例の制定 |
| | 議案第69号 | 吉賀町農業競争力強化基盤整備事業分担金徴収条例の制定 |
| | 議案第73号 | 平成29年度吉賀町水道事業会計補正予算(第1号) |
| | 議案第74号 | 平成29年度吉賀町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号) |
| | 議案第75号 | 平成29年度吉賀町後期高齢者医療保険事業特別会計補正予算(第2号) |
| | 議案第76号 | 平成29年度吉賀町介護保険事業特別会計補正予算(第3号) |
| | 議案第77号 | 平成29年度吉賀町小水力発電事業特別会計補正予算(第2号) |
| | 議案第78号 | 平成29年度吉賀町下水道事業特別会計補正予算(第3号) |
| | 議案第79号 | 平成29年度吉賀町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号) |
| | 議案第80号 | 平成29年度吉賀町一般会計補正予算(第5号) |
| 同意第7号 | 副町長の選任 | |

【賛成多数で可決した議案】

○:賛成 ●:反対

| | 議案番号 | 件名 | 松蔭 | 三浦 | 桜下 | 桑原 | 中田 | 大多和 | 河村隆 | 大庭 | 河村由 | 庭田 | 藤升 | |
|----------------------------|--------|------------------------------|----|----|----|----|----|-----|-----|----|-----|----|----|---|
| 臨時3 会回 | 同意第3号 | 監査委員の選任 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | 除斥 | |
| 第 4 回 定 例 会 | 議案第70号 | 吉賀町農業委員会の委員等の定数等に関する条例の制定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ● | |
| | 議案第71号 | 吉賀町長等の給与等に関する条例の一部改正 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | |
| | 議案第72号 | 吉賀町職員の給与に関する条例の一部改正 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | |
| | 発議第7号 | 医療報酬・介護報酬等の引き上げを求める意見書(案) | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ |
| | 発議第8号 | 介護保険制度における国庫負担の増額を求める意見書(案) | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ |
| | 請願第4号 | 町道柳原線・新田線・柿木長崎線の舗装改良工事に関する請願 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● |

元気なまちをめざして



河村 隆行

質問 健康で楽しく生活できること。農林業も、各事業所も人手不足で、働き方改革を行い、高齢者にも応援してもらい、人の動きを多くする。町内移動手段改革を行い、自由に移動できるよう検討するべきでは。

質問 健康で楽しく生活を公共工事の一つと捉え、町が応援してはどうか。

町長 農地の維持管理は、所有者や耕作者であり、全国の事例を参考に問題解決の検討を行いたいと思っている。

町長 福祉、教育の観点も含め、地域交通のあり方についても検討する。

農業について

質問 町内半分近くの水田は兼業農家で維持されていると思う。兼業農家を応援することが町内事業所等の人手不足の解消にもつながり、中山間地の農道や圃場の法面等の草刈り



農業の振興を



庭田 英明

質問 基幹産業である農業の衰退が高齢化により想像以上の速さで進んでいる。担い手はどう育成していく考えか。

町長 県、国の事業を活用して、就農や技術の支援をしていく。

質問 農林産品や加工品のブランド化に取り組んでいるが、有機農業はすでにブランドとして町外でも認知され、定住対策にも寄与している。まちづくりにも活用すべきではないのか。

町長 総合戦略でも有機農業の推進を掲げているので、有機農産物のブランド化を今以上に進めていく。このこ

とは町の資源を活かした新しい観光にも繋がってくると思う。

利用者が自立できる運営を

質問 地域活動支援センターの建設が計画されている。利用者が自立し、社会参画できる経営をしていかなければならないが。

町長 自立のために今行っている事業のほかに利用者の状態やニーズに応じて規模の拡張や新しい事業などを検討して、安定したサービス提供が可能になるように支援をしていく。



町道の整備について



中田 元

質問 平成27年度末で町道の全長222.9km改良率62%、舗装率が71%とありその中には緊急車両が入らず、火事になったら不安との声を聞く。

身近な町道や橋、危険な側溝の整備など陳情や請願が議会に対して提出されている。また、通院や買い物など高齢者の方が待ち望んでいるデマンドバスのフリー乗降や地域福祉バス運行も町道の整備が必要と考えるが町長の考えを伺う。

通体系については行政福祉団体等と協議を行ないたい。

質問 排水路が無く、合併浄化槽を設置できない地区、利用できない人への対応はどのような考えか。

町長 基本的には町道の側溝に排水できるが条件により細かく対応することは困難であるため、設置者が対応する以外方法はない。

一律的な補助制度対応は難しいと考えるが、担当課の方で調査し、個々の対応については検討する。

町長 幅員が狭あい箇所は地権者の理解を得ながら解消に努め、危険箇所については調査を行ないたい。

通院や買い物など交



※一般質問の内容は、本人の原稿をもとにしています。

吉賀町の振興について



河村 由美子

質問 生活基盤として、必要なことは元氣な住民の存在と経済の好循環を確立する、まさにこの二つが車の両輪のごとく機能しないと将来の吉賀町はありえないと表明された。特に地域資源を活用した産業振興とあるので町民に見える化で公約に必達目標を示す必要があるのでは。

子育て支援の無償化の見直しは

質問 保育料、給食費、医療費の無償化を実現しているが、世帯の所得制限なしの一律補助には町民から賛否両論がある。

子どもの貧困を招くことを望むものではないが、親の苦勞が見えず育児放棄の懸念の声もある。他方では低所得の高齢者が交通手段のない地域で切り詰めた生活をしている方もいる。事業を検証し高齢者に優しい制度を作るべきでは。

町長 農林水産業の振興と6次産業化の中で素材を生かせば発想しだいで何でもできると思う。

後継者、担い手を確保される取り組みと差別化を図った商品開発等具体化に向けた制度設計を行い、順次、議会へ諮っていく。

町長 子育て支援を継続しながら、高齢者、地域に有効な交通体制を講じる。

町民文化ホール建設について



桜下 善博

質問 昨年3月議会で旧備中屋跡地を駐車場にするよりも、町民文化ホール建設が最適ではないかと提案した。

前町長は「町民有識者の声を聞き、議論を重ね、後世に誇りが持てるような立派なホールでなければならぬ。旧備中屋跡地では狭い、何でも六日市につくれ

ばいいというもではない早急に協議検討する」と答弁されたが、進捗状況と新町長の考えを聞く。

町長 町民文化ホール建設は、後世あるいは次世代への負担を考慮すると、現時点では明言できない状況である。平成33年度からの地方交付税の大幅な減額が

決まっている中で文化ホールをはじめ、新たな箱物建設は慎重に対応していく必要がある。現在、障がい者福祉のために多額の財源を投じて、地域活動支援センターの建設を計画実行中であり、箱物はすべてやらないということではない。しっかりと精査し、やるべきことは積極果敢に実行する。新しい財源を見つけて有効活用していき、メリハリのある予算執行に努めたい。

町の人口減少問題の対策は



松 蔭 茂

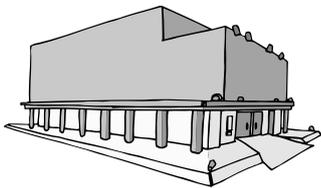
質問 人口減少は全国的なことであり、この地方でも差し迫った大きな問題である。どのくらいの人口なら現状維持できるかの数値目標、また期日目標はいつか。町に魅力がなければ人々の定住はないが、どのような施策があるのか。特に産業、経済についてはどうであるのか。町長は問題解決にどのような考えを持っているのか。

町長 人口減少問題の対策は、日本全体の問題であり地方自治体だけで解決できるものではない。国のまち・ひと・しごと創生本部の推計では、吉賀町の人口は平成32年には5725人、さらに平成72



年には2513人と現人口の約4割まで減少すると言われている。人口の現状維持は、極めて困難であると判断している。

産業推進については、この地の社会資源を活用して官民挙げて考えていき、町を守っていく必要がある。



町内バス運賃の引下げを求める



藤 升 正 夫

質問 バスを利用する人が、通学や通院・買い物だけでなく、少し離れたところの友人や親せきに会いに行くとか、文化活動・社会活動への参加など、社会人として当たり前のために、交通にかかる利用者負担の軽減は必要と考えるか。

町長 現行の利用料金はおおむね適正と考えている。既存の公共交通では支障をきたす通院・買い物困難者などの対策を考える予定であり、地域事情に十分配慮した制度に努め、介護・福祉機関との連携による福祉有償運行や、自治会との連携による自治会輸送なども選択肢の一つと思う。

農業委員会会長 吉賀町農業の現状や、担い手の現状等に関する議論はあまりできていない。現場での実践に基づいた農業政策の提案を行い、農家の代表、農地の守り手としての役割を果たしていきたい。

住宅整備について



大 庭 澄 人

質問 蔵木地区住民の多くから住宅建設の要望は強く、住宅建設は地域の活性化に大変有効的で、地域の疲弊に歯止めをかける。

町長 蔵木に極端に少ない町営住宅は、地域間格差是正の上でも必要である。大胆な定住団地の建設を求める。

町長 町内235戸の町営住宅の内62戸の建て替えが必要。新規の建設においては十分なニーズ調査と財政面を勘案すべきである。5年ごとの計画更新の際に、様々な問題を検討し、まちづくりにとって必要不可欠なものであるならば、新規の建設についても検討していく。

「目安箱」の設置を



大 多 和 安 一

質問 住民目線のまちづくりの一環として、町民の声を聴くため、各集会所に目安箱の設置を提案する。

町長 町民の声を聴く手段として、「まちづくりの声」という制度を実施している。

町長 意見や提言を所定の様式に、住所・氏名と共に記載して、役場窓口又は郵送により届けられている。

町長 各集会所へ設置と言われるが、個人情報のある項目もあり、各集会所への設置は困難だ。

町長 これからは、各地区1か所ではあるが、座談会を実施する。

町長 子育て政策に所得制限を導入しないのか？

質問 国は、所得制限のある子育て支援策を實行しようとしているが、吉賀町としては、今後、所得制限は導入しないのか？

町長 町民から、給食費の無償化等に関し、所得制限が必要という声のあることは承知しているが、町としては、導入する予定はない。



本町に関わる施設の整備は



三浦浩明

質問 六日市温泉ゆらの彫刻の道の夜間照明整備やスポーツジム設置など町民からの意見がある。特にスポーツジムの健康増進と交流促進の観点からも必要があると考えます。

をすることはないか。また、こぼと保育園は認定外保育所であるが、町外からの雇用であつても病院勤務者の誘致施策の一環として捉え、子育て支援として補助金対象とするべきではないか。

町長 夜間照明設備について、今後新たな彫刻を展示するため、完了後は照明等の設備も必要と考える。

スポーツジムについては、今後要望が高い場合、「ゆらら」のみではなく既存施設の有効活用も含めながら見極めたい。

質問 六日市病院の駐車場スペースが狭いと町民からの苦情があるが、町が駐車場整備

町長 駐車場の六日市病院の財産であるので、限られた財源の中で優先順位を検討され、設備更新を行っていたきたい。こぼと保育園について、同様の制度適用は無理があり、現在の支援計画の上乗せ等の別の切り口が必要である。



一体感の醸成の欠如の対処と、意義、方法は



桑原三平

質問 立候補の表明以来、一体感の醸成を掲げ、まちを一つにこのことだが、欠如と感じた出処と、醸成の意義、方法について聞く。

が、地域で活動し、町全体を盛り上げていく機運で一つになろうというのである。その方法は、町内5つの公民館ごとに特色ある地域づくりや独立性のある活動をさせ、切磋琢磨することにより町全体が活性化するのであると思う。

町長 これまで両町村が取り組んだ内容を尊重し、互いに不足する部分を補完する、このことが達成されていまいと感じ、合併協議事務を預かった者として、一体感の醸成を果たすことが使命だと考えている。

意義については、合併前の両自治体の特性を生かしたまちづくりを行うことにより、町をさらに発展させることである。従って画一的な意味でまちを一つにするのではなく町民

併前の両自治体の特性を生かしたまちづくりを行うことにより、町をさらに発展させることである。従って画一的な意味でまちを一つにするのではなく町民

町を一つにするための手段として、情報の共有化は当然必要であり、対応の仕方について、検討、改善をしていく。

最近の主な議会動向

| 月日 | 用務 | 出席者 | 月日 | 用務 | 出席者 |
|--------|--------------------------|-------------|----------------|------------------------|-------------|
| 10月2日 | 鹿足郡一部事務組合議会定例会〔津和野町・吉賀町〕 | 組合議員 | 11月17日 | 広報広聴常任委員会 | 広報広聴委員長 |
| 10月4日 | 津和野土木事業所へ意見書提出〔津和野町〕 | 議長 経済委員長 | 11月20日 ~22日 | 町村議会議長全国大会ほか〔東京都〕 | 議長 |
| 11月1日 | 議員懇談会 | 全議員 | 11月24日 | 吉賀町除雪会議 | 議長 経済委員長 |
| 11月7日 | 第3回臨時会 | 全議員 | 11月27日 | 益田広域市町村圏事務組合議会定例会〔益田市〕 | 組合議員 |
| 11月7日 | 第6回全員協議会 | 全議員 | 12月1日 | 第7回全員協議会 | 全議員 |
| 11月10日 | 正副議長管内あいさつ回り〔益田市・津和野町〕 | 議長・副議長 | 12月1日 | 議会運営委員会 | 議運委員長 |
| 11月12日 | 近畿島根県人会総会〔大阪市〕 | 副議長 | 12月5日 | 島根県町村議会一期議員研修会〔松江市〕 | 新議員 |
| 11月13日 | 島根県町村議会全議員研修会〔松江市〕 | 議員 | 12月7日 | 石州会に求める地域医療・介護を考える会 | 議員 |
| 11月17日 | 第4回臨時会 | 全議員 | | | |

発議・請願

発議

▼【発議第7号】

医療報酬・介護報酬等の引き上げを求める意見書(案)
 発議者 藤升正夫

【理由】

医療・介護等の充実を図るため
 総務常任委員会付託審査
 審査結果 可決(賛成多数)
 本会議採択

可決(賛成多数)

▼【発議第8号】

介護保険制度における国庫負担の増額を求める意見書(案)
 発議者 藤升正夫

【理由】

安心して利用できる介護保険制度とするため
 総務常任委員会付託審査
 審査結果 可決(賛成多数)
 本会議採択

可決(賛成多数)

請願

▼【請願第4号】

町道柳原線・新田線・柿木長崎線の舗装改良工事に関する請願
 請願者 柿木地区連合自治会

会長 友重 博

紹介議員 桑原三平

【理由】

この3路線は公共施設に繋がる道路でもあり通学路でもありながら亀裂や陥没が多く、通行に支障をきたしているため
 経済常任委員会付託審査

審査結果 採択(賛成多数)

本会議採択

採択(賛成多数)



(町道柳原線等の視察)

編集後記

新年あけましておめでとう
 ございます。

住民の皆様、読者の皆様には、お健やかに新春をお迎えのことと存じます。

今年の三が日は積雪もなく穏やかな天気で柿木地区連合自治会が主催する恒例の元旦ジョギング大会には、約160名の参加者がいてこれまでない盛り上がりで、UITAの方の参加も年々、増えていくように思いました。

昨年、10月の町長・議員選挙後、臨時議会で議会構成があり広報広聴常任委員会の委員は5名です。

12月、初の定例会が行われ議会だよりの発行となりました。編集会議を経て今号より、構成を変更し誌面は表紙のレイアウトを残して右開きの縦書きを多用し、一般質問の質問、答弁、質疑応答は「である調」にしました。皆様のご意見ご要望をお待ちします。

【桑原三平】



(柿木地区連合自治会のジョギング大会)